

福祉ぐんま

- ① … 事業所でのガウン制作作業の様子
- ② … サニースマーケットの手作りビニールガウンが高齢者施設で使用されている様子 (社会福祉法人 尾瀬長寿会 特別養護老人ホーム 桜花苑)
- ③ ④ … 中学校の職業学習で生徒がガウン作りを体験



①



②



③



④

つながる福祉

社会福祉法人三山黎明会
就労継続支援B型
サニースマーケット
管理者 石倉 敦也さん
{関連記事は6ページ}

CONTENTS

特集 P2・3

「高齢者・障害者施設への 応援職員派遣支援事業」がスタート

P4 TOPICS

- 生活困窮者・ひきこもり 無料メール相談 開始しました
- 介護や保育の仕事へ再就職される方を応援します！
- 令和2年度福祉サービス 苦情解決セミナーの開催

P6 つながる福祉 インタビュー / 県社協会員紹介

P7 まちの社協レポート
～南牧村社協～

P8 INFORMATION

- 寄附の御礼

ホームページは
下記のQRコードから
アクセスしてください。



今一度、
感染対策を
しっかりと



「高齢者・障害者施設への応援職員派遣支援事業」がスタート

■事業実施の経緯

新型コロナウイルス感染症により、地域で感染が急激に広がる危機的な状況において、福祉現場では、感染防止の徹底を図り、福祉サービスを継続していくことが求められています。

社会全体が不安に包まれている中、高齢者・障害者施設で働く介護職員が新型コロナウイルス等に感染した場合、出勤停止等により、介護職員が不足することが想定されます。

そこで、群馬県を中心に、福祉関係団体の協力のもと、福祉施設のサービス提供を継続させるため、非感染施設から応援職員を派遣し、職員不足を相互に補完する「高齢者・障害者施設への応援職員派遣支援事業」がスタートしました。(次ページイメージ図参照)

県社協では、県からの委託を受け、事務局として研修会やマッチング等を担っています。

応援派遣が可能な事業所等を募集したところ、高齢者施設分野で156事業所・233名、障害者施設分野で85事業所・126名(令和3年3月1日現在)の応募がありました。多くの方の協力により、有事に備えています。

■福祉施設で陽性者が発生した場合

高齢者施設や医療機関などでの新型コロナウイルスのクラスター(感染者集団)発生を防ぐため、現場で濃厚接触者の特定や有症者の把握などに一体的に取り組む対策チーム「C・MAT」が創設されました。陽性者が確認され、クラスターにつながる恐れ等がある場合、感染拡大を最小限に抑えるために派遣されます。

施設内での対応としては、感染リスクの低いスペースを確保する「ゾーニング」などの感染拡大防止措置、PCR検査対象者の検討、濃厚接触者の特定、検体採取、搬送先の調整などに当たります。

「C・MAT」の対応後、感染症が発症した事業所及びその経営主体を中心に福祉サービスの継続対応を検討し、職員の不足等が懸念される場合、同一種類の事業所を中心に、応援派遣の登録事業所に対して応援可能な職員を募り、マッチングを行う流れとなります。


■平時からの備えとして

応援派遣の登録事業所に対して、応援派遣の仕組みを理解した上で、それぞれの施設・事業所で感染症を発生させないために標準予防策や防護具の着脱訓練、さらには、万一、事業所内で発症した場合の具体的な対応方法等について、「群馬県感染症対策連絡協議会」の専門スタッフによる研修等を実施しています。

クラスター対策チーム (C-MAT) 設置

◆ 高齢者施設、福祉施設、医療機関等において、入所者等に陽性患者が発生した場合、迅速に感染拡大防止の支援にあたる

高齢者施設等で陽性患者が発生
クラスター化の恐れ



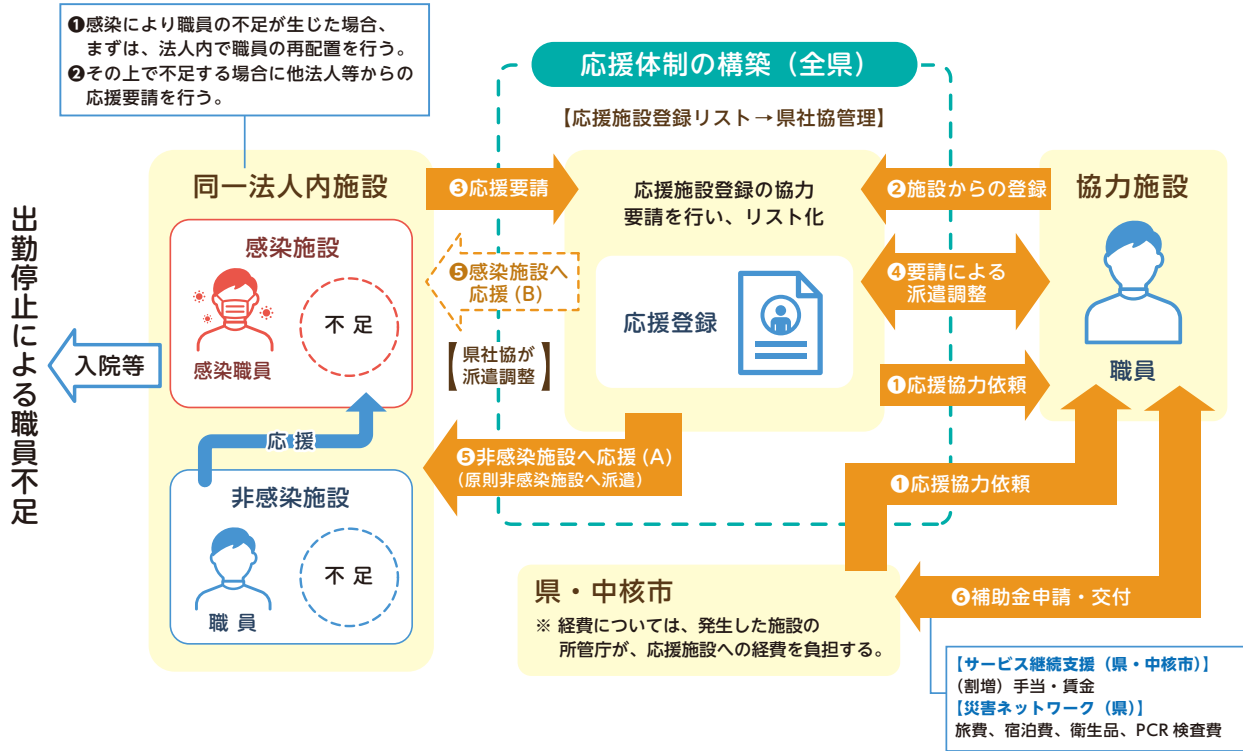
C-MAT が出動 感染拡大防止を支援

C-MAT : Corona virus Mobile Assistance Team



防護具の着脱訓練の様子

高齢者・障害者施設への応援職員派遣支援事業（イメージ）



令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険等）

1 基本補償（賠償・見舞）

賠償事故	保険金額	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
身体賠償（1名・1事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
財物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等		
事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

補基本(A型)	年額保険料(掛金)	
	定員	基本補償(A型)
付見舞費用(B型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

受付時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

1

生活困窮者・ひきこもり 無料メール相談 開始しました

県社協（生活支援課）では、平成27年度から群馬県内の23町村部を対象に、群馬県より受託して生活困窮者自立相談支援事業を実施しております。

8町村協（吉岡町・下仁田町・長野原町・東吾妻町・みなかみ町・玉村町・大泉町・邑楽町）とコンソーシアム協定を締結し、それぞれに相談支援員を配置し、きめ細やかな支援を行っています。

令和2年10月から、自立相談支援機能強化事業を群馬県から新たに受託して、社会参加に向けたより丁寧な支援を必要とする方への支援強化を図る一環として、『生活困窮者・ひきこもり無料メール相談』を開始しました。

県社協（代表法人）と8町村協とでコンソーシアム（共同事業体）を設立し、23町村部における生活困窮者支援を行う。



ひとりで悩んでいませんか？

“生活困窮者・ひきこもり”
メール相談はじめました

ご本人

- 外に出ることが不安
- 何もやる気がでない
- ひきこもり状態から抜け出したい
- 仕事や生活などで困っている

ご家族

- 子どもがひきこもりかもしれない
- どこに相談していいかわからない
- このままだと将来が心配

対象者：ひきこもりや日々の生活でお悩みのご本人・ご家族
対象地域：群馬県内の町村部
支援内容：ご本人・ご家族からメールでのご相談をお受けします。ご相談の内容によって、必要な支援機関におつなぎします。

検索

群馬県社会福祉協議会 TEL 027-212-0011

ひきこもり状態といわれる方は、様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしていない）を指す現象概念です。（引用：ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン）

15歳～39歳の若年ひきこもりは、全国で54.1万人と推計されていますが、40歳～64歳の中高年のひきこもりは61.3万人との推計が公表されており、ひきこもり状態の高齢化・長期化が見えてきました。（出典：内閣府の調査より）

ひきこもり支援に繋がるきっかけは様々で、生活困窮者自立相談支援事業や、8050問題のように高齢者の介護等がきっかけとなることも想定されますが、どの地域でも相談や支援に繋がらずに埋もれているケースが多くあると思います。

ただし、ひきこもり状態はストレス環境から逃避し、安定を得るために必要な時間であることも考えられるため、一概に早急な解消を図るべきではないケースも考えられます。ケースごとに関係機関と連携を図りながら支援の実施に取り組むことが求められると思います。

このように、ひきこもり支援は相談に繋がるまでの困難さ、支援の実施の困難さを抱えています。無料メール相談をきっかけとして、本人の自立に向けて支援に取り組んでいきたいと思っています。

2

介護や保育の仕事へ 再就職される方を応援します！

- ① 離職した介護人材の再就職準備金
- ② 保育士就職準備金

● 対象
介護職員等としての実務経験が1年以上あり、介護についての資格を有している方で、介護保険法に基づく居宅サービス等を提供する事業所等に就職した方。

● 貸付額 上限40万円
● 返還免除
群馬県内で2年間勤務すれば全額免除

● 対象
保育士として勤務していない（勤務経験のない）方で、保育所等に新たに保育士として週20時間以上勤務する方。

● 貸付額 上限20万円
● 返還免除
群馬県内で2年間勤務すれば全額免除

問い合わせ先
福祉人材課
☎ 027-255-6600

※再就職するまでの間に、群馬県福祉マンパワーセンター、高崎市福祉人材バンク、太田市福祉人材バンクをご利用ください。（①は登録必須）

福祉・介護の求人情報を **WEBで!**

福祉のお仕事

福祉の職場を目指すあなたを応援します！
群馬県福祉マンパワーセンター及び高崎市・太田市福祉人材バンクでは、福祉人材無料職業紹介事業を実施しています。ぜひ、お気軽にご利用ください。

問い合わせ先

- 群馬県福祉マンパワーセンター ☎ 027-255-6600
- 高崎市福祉人材バンク ☎ 027-324-2761
- 太田市福祉人材バンク ☎ 0276-48-9599

3

令和2年度福祉サービス 苦情解決セミナーの開催

社会福祉法第82条により、社会福祉事業の経営者には、利用者の権利擁護と福祉サービスの質の向上を図るため、福祉サービスの利用者等から寄せられる苦情に適切に対応し、解決することが義務づけられています。今年度の福祉サービス苦情解決セミナーは、弁護士法人龍馬

の板橋俊幸弁護士に、「施設におけるリスク管理と苦情対応と予防と事後対応のポイント」と題し、苦情発生時の仕組みやそのポイント、事故発生時の初期対応、福祉サービスにおける法的責任等について、県社協ホームページ上にて動画を配信しています。（令和3年4月30日まで）

苦情・クレームの中身

『苦情・クレーム』

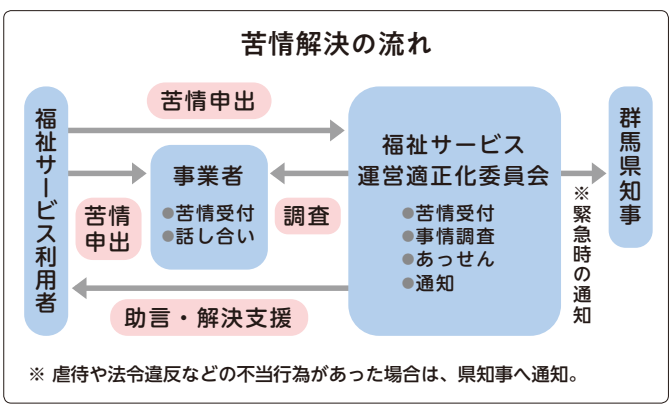
- ・期待した水準のサービスが得られない
- ・期待した心理的効果が満たされない

得られていない欲求を満たすために起こされた行動であることを認識することが重要！

介護現場における主な苦情等

- ① サービスの内容・質の問題
- ② 事前の説明不足による意思疎通の齟齬
- ③ 家族への連絡ミス（不足）・施設内の連絡ミス
- ④ 介護事故の発生・事後対応の不手際
- ⑤ 無理難題・不当要求 など

動画配信によるセミナーの様子



インタビュー つながる 福祉

◆ 社会福祉法人三山黎明会
就労継続支援B型
サニースマーカーケット
管理者 石倉 敦也さん

サニースマーカーケットは知的障害を持つ方に就労の機会を提供し、社会において自立できるよう支援するための事業所です。ところがコロナ禍において、これまでの作業が大幅に減少。そんな中で、新しく始めた「手作りビニールガウン」制作の取り組みについて、管理者の石倉さんにお話をうかがいました。

Q 本日（取材日）は、中学校で職業講話と実際にガウン制作を体験してもらいましたが、いかがでしたか。
A 福祉に興味を持ってもらえる良い機会になりました。休校など、子どもたちからしてもコロナは身近な問題だったので、しっかりと聞いていただけたと思います。

Q なぜガウンを作ることになったのか教えていただけますか。
A 私たちの事業所は、地域の農家さんや地元企業の皆様に支えられながら、野菜販売等を中心に取り組んできました。しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い作業が激減。主力のたまねぎ皮むき作業も、4月、5月は前年比9割減と大幅に落ち込んでしまいました。

そうなる、利用者さんに取り組んでいただく作業がないため、来てもらえない、やりがいがない。そんな状態が続くと、気持ち的にも能力的にも低下してしまうので、こちらも、普段どおりの対応ができないかと頭を悩ませていました。

そんなときに、災害や被災した事業所への支援を専門に行っているある大学の教授が、学生と一緒に困っている施設に感染予防のための手作りビニールガウンを作る活動をしていると聞き、この状況下で困っているのは私たちだけではなく、障害者の活動を通して社会に貢献できればと思います、私たちの事業所でも商品化に取り組むことにしました。制作したガウンは県内の高齢者施設を中心にご購入いただいています。

Q どのくらいのペースで制作していますか。
A 週3〜4日、職員1人と利用者1人で作業して、1日10枚〜30枚程度作りします。使い慣れないハサミとアイロンを使いますが、利用者さんは、「疲れるけど楽しい」「あつという間に時間が過ぎていきます」と言っています。こちらからも、「同じ

県内の高齢者の方の施設で役に立つんですよ」と伝えやすく、利用者さんもイメージしやすいので、みんなやりがいを感じて取り組んでいます。購入先の施設からは、「ガウンを確保できるので、安心できる」等の声をいただき、社会における役割を感じました。

Q こうした新しい活動に期待することはありますか。
A 障害者福祉施設だけでなく、他の福祉施設とのつながりが強くなったことです。コロナ禍で、福祉施設同士の連携が難しくなり、管理者の皆さんも、不安の中で事業を行っていると思うのですが、こうした活動で、「あの法人さんも頑張っているから、うちも頑張ろう」という、福祉間の連携協力が生まれたことがプラスになっています。

こちらにも、活動を通じてつながる縁で、利用者さんも職員も元気をいただきました。これからは、人のつながりを大事にしながら、利用者さんのために活動の提供をしていきたいと思っています。



管理者 石倉 敦也さん

Q どのくらいのペースで制作していますか。
A 週3〜4日、職員1人と利用者1人で作業して、1日10枚〜30枚程度作りします。使い慣れないハサミとアイロンを使いますが、利用者さんは、「疲れるけど楽しい」「あつという間に時間が過ぎていきます」と言っています。こちらからも、「同じ

県内の高齢者の方の施設で役に立つんですよ」と伝えやすく、利用者さんもイメージしやすいので、みんなやりがいを感じて取り組んでいます。購入先の施設からは、「ガウンを確保できるので、安心できる」等の声をいただき、社会における役割を感じました。

県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

一般財団法人群馬県老人クラブ連合会

老人クラブとは、

高齢者が住みなれた地域で、親しい仲間と共に生きがいのある毎日を過ごせるよう楽しく語り、健康づくりの運動やお互いの助け合い活動、趣味や教養学習活動、軽スポーツや旅行・世代間交流活動などを行っている身近な自主的活動の団体です。活動の3本柱は、「健康・友愛・奉仕」の実践です。

老人クラブのメインテーマ

「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

入会のご案内 60歳以上の方ならどなたでも参加できます。

会員数 97,657人（令和2年4月1日現在） クラブ数 1,612クラブ



健康ウォーキング交流会



コーヒーの美味しい入れ方を研究
(単位クラブの活動事例)

各種軽スポーツ大会・研修会等を実施

- 健康ウォーキング交流会、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会など
- さわやか群馬リーダー養成セミナー、見守りサポーター養成研修会、健康教室
- 県老人クラブ大会・芸能発表大会、全国老人クラブ連合会主催セミナー等への参加

まちの社協レポ

各市町村社協の取り組み、活動をレポートします

ゴミ出し支援の体制整備を目指して！

日本一の高齢化率といわれている南牧村では、ひとりで生活している方も多くいらつしゃいます。そういった方々からは、「ゴミ捨て場に行くのも距離があったり道が悪かったりして大変」「今はゴミ出しもなんとかなっているが、5年10年先を考えると心配に思う」といったゴミ出しのニーズが聞かれるようになりました。

これらのニーズに対し、南牧村生活支援体制整備事業協議体「やってんべえ」では、「ゴミ出し支援事業の検討を行っています。現在は1地区を対象にモデル事業を行うことを計画しており、担い手については村のシルバー人材センター会員の有志から協力の有る方から協力してもらえるところとなりました。このゴミ出し支援が形になり、地域住民が永年南牧村で住み続けるための要因になるよう頑張っています！



月1回協議体会議を行っています

職員から一言

地域住民の細かなニーズに対応していけるよう試行錯誤してまいります！

社会福祉法人 南牧村社会福祉協議会
甘楽郡南牧村大字磐戸207
(南牧村活性化センター内)
TEL 0274-87-2676

「給食サービス」住民の身近な存在を目指して！

南牧村社協では、年45回、週1回配食サービスを行っています。コロナ禍においても、ボランティアの皆様の協力をいただきながら、地域福祉向上のため活動に取り組んでいます。「いつもおいしいものをありがたう」の声を励みにこれからも住民が気軽に利用できるサービスを目指してまいります。



ボランティア様によるお弁当

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類	プラン	
	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円
	手術 入院中の手術	65,000円
	保険金 外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	× ○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)
年間保険料		350円 500円

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

「ふくしの保険」

商品パンフレットは **コチラ**
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

INFORMATION



お知らせ

寄附の御礼（令和2年4月～令和3年3月まで）

ご寄附いただきありがとうございました。
皆様よりご寄附いただきました寄附金・寄附物品につきましては、
寄附の趣旨に基づき、社会福祉推進のための事業等に活用させていただきます。



令和2年度 寄附一覧（順不同）

寄贈元	金額または品名	使途・払出先
第一三共株式会社 サステナビリティ推進部 様 (第一三共グループ従業員の皆様)	200,000 円	新型コロナウイルス感染症対策のための事業費へ充当
明治安田生命保険相互会社 群馬支社 様	420,700 円	新型コロナウイルス感染症対策のための事業費へ充当
一般社団法人 群馬県ゴルフ振興基金 様	200,000 円	社会福祉振興基金へ積立
公益社団法人生命保険 ファイナンシャルアドバイザー協会群馬県協会 様	30,000 円	社会福祉振興基金へ積立
(匿名)	30,000,000 円	社会福祉振興基金へ積立
(匿名)	5,000 円	社会福祉振興基金へ積立
群馬県日本中国友好協会 様	マスク 4,000 枚	社会福祉法人群馬厚生会 / 社会福祉法人光塩会 / 株式会社前橋介護福祉会 / 社会福祉法人田口悠々の里 / 館林市 / 前橋市社会福祉協議会 / 高崎市社会福祉協議会 / 桐生市社会福祉協議会 / 伊勢崎市社会福祉協議会 / 太田市社会福祉協議会 / 沼田市社会福祉協議会 / 館林市社会福祉協議会 / 渋川市社会福祉協議会 / 藤岡市社会福祉協議会 / 富岡市社会福祉協議会 / 安中市社会福祉協議会 / みどり市社会福祉協議会
株式会社ジェイ・エヌ・エス 様	オーバーマスク 10,000 枚	群馬県ホームヘルパー協議会
株式会社マルハン 前橋インター店 様	食料品 30 ケース	こども食堂ネットワークぐんま（生活困窮者支援にて活用）
	食料品 10 個 日常生活用品 68 個	こども食堂ネットワークぐんま / 県社協災害資材 / 沼田市社会福祉協議会 / 長野原町社会福祉協議会 / 嬭恋村社会福祉協議会
	食料品 213 個	こども食堂ネットワークぐんま
	食料品 367 個	群馬県里親の会
	食料品 1,212 個	群馬県児童養護施設連絡協議会
	食料品 666 個	群馬県児童養護施設連絡協議会 / 群馬県里親の会
一般社団法人群馬県信用金庫協会 様	ノート 113 冊	群馬県児童養護施設連絡協議会
ジブラルタ生命保険株式会社 群馬支社 様	マスク 100 枚	群馬県児童養護施設連絡協議会
北関東雪印メグミルク協会 様	車椅子 3 台	沼田市社会福祉協議会 / 甘楽町社会福祉協議会 / 明和町社会福祉協議会
株式会社龍角散 様	食料品 749 ケース	ぐんま子育て支援センター連絡会 / 前橋市社会福祉協議会

福祉ぐんま

編集／発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉ぐんまは、群馬県社協ホームページでも
ご覧になれます。

〒371-8525（専用郵便番号）

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

TEL 027-255-6033（代表）

FAX 027-255-6173

URL <https://www.g-shakyo.or.jp/>

発行日 令和3年3月31日

あしがき



新型コロナウイルス感染症の県内初確認は昨年3月。終息時期をゴールデンウィーク明けには、夏には、来年こそはと願いつつ1年がすぎた。

マスク会食やウェビメントなど生活様式は様変わりした。気の合う仲間と杯を交わすこともなくなり、二日酔いさえ懐かしい。

「マスクなしで暮らした時代があったんだよ」。そんな思い出話はごめんだ。ワクチン接種の本格化が、日常を取り戻す福音となってほしい。

編集委員 上毛新聞社論説委員 石垣 光広